

こしき沢接骨院便り

2013年 秋号

日増しに秋も深まってきて、清々しいこの季節、気分もアクティブになりますね！
朝晩は冷え込むことも多くなると思いますので、健康管理にはお気をつけくださいませ。



一人ひとりの患者さんに真剣に対応するため、
予約制とさせて頂いております。
ご予約はお電話で！

こしき沢接骨院 長岡市渡場町1-15

院長：飯澤幸一

TEL: 0258-27-5642

HP: <http://www.kksekkotsu.com/>

なぜマラソンは42,195km?

マラソンの起源は、アテナイ軍とペルシャ軍が戦ったマラトンの戦いでのアテナイ軍の勝利を伝えるため、戦場から完全武装のままアテナイまで走り、城門の前で絶命したエウクレスという兵士である。

この故事を元に、第一回のアテネオリンピックでは、マラトン—アテネ競技場間で初のマラソン競技が行われた。だがまだ、マラソンの距離は42,195kmではなかった。

マラソンが42,195kmという距離で初めて行われたのは、第四回のロンドンオリンピックである。当初、マラソンは約40kmで競われる予定だったが、時の王妃アレクサンドラが「スタートを城の窓から見たいので、スタート地点は城の庭で、ゴールの瞬間は競技場のボックス席で見たいので、ゴール地点はボックス席の前にして」とわがままを言った為、42,195kmという半端な数字になった。そして、第八回のパリオリンピック以降、42,195kmが採用された。



話は変わって、みんな知っているギリコのパンテーシのマラソンランナー。この人は実は日本人ではなく、フィリピン人である。

第五回極東競技大会でゴールしたカタロンというフィリピンのマラソン選手の笑顔がギリコの商品イメージにぴったりだった為、採用されたとのことである。

知は

越後のミラージュロ—石川雲蝶

秋といえば芸術の秋……。



ここでみなさんにおすすりめしたいのが石川雲蝶の彫刻です。けいり最近有名になってきてるんで、ご存じの方も多と思うんですが幕末の名彫刻師で新潟県内の神社やお寺などに多くの作品を残しています。竜鳥獅子とかの作品が多いんですが、ものすごく細かく彫ってあって、それでいて迫力満点。鳥や獅子などは、その身体のおもしろいところを伝わるような、「ほんとにこれって木で彫ってあるの？」と疑ってしまうようなリアルさを感じます。みんなどの作品をとってみても見ごたえのあるものばかりです。ぜひこの秋に、その地方の美味しいものを食べながら鑑賞してみよう……なんというのでもいいと思いますよ。



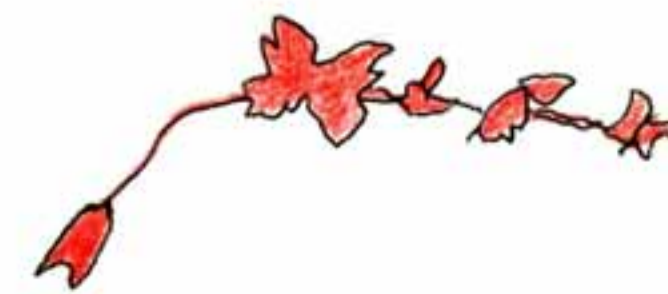
読書の秋をいっそう楽しむアイテム

使うとすぐにでも本を手にしたくなっちゃうくらいカワイシおりがあるそうです。その名は「しおりぼん」。

繊細なデザインとゆらゆら揺れる柔らかな質感は紙やプラスチックでは出せないリボンならではのものです。

本にはさんでインテリアとして飾ってもとってもオシャレ。

患者さんの中には自分で作れる方もいらっしゃるでしょうね。こんな素敵なしおりがあれば、読書がいつも以上に楽しめそうですね。



うえぐり